




感染症に気をつけよう!

2020年【3月号】

横浜市内の感染症 流行状況



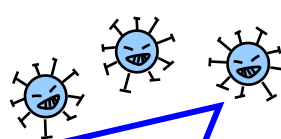
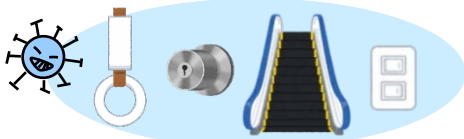
感染症**	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
インフルエンザ*	 流行	 減少	2月上旬に注意報が解除されて以降、減少中ですが、まだ流行レベルの報告数です。【'20.1号】
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎**	 発生	 横ばい	昨年の冬から、例年に比べて報告数が多い状態が続いています。【'18.4号】

参考ホームページ *：厚生労働省 **：国立感染症研究所 横浜市衛生研究所

横浜市感染症情報センター(3月12日更新)



今、気をつけたい感染症 新型コロナウイルス感染症



▶ 電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなどは、**不特定多数の人が使う物**です。感染している人が触って、それらにウイルスが付着しているかもしれません。

▶ それらの物に触れてウイルスが付いた手で、**目・鼻・口の粘膜に触れると、ウイルスが体内に入り、感染**してしまう可能性があります。注意しましょう!

▶ **帰宅時・調理の前後・食事前などに、せっけんで手を洗って感染(接触感染)を防ぎましょう!**



▶ 体力が低下すると感染しやすくなり、また、感染した時に症状が重くなってしまう恐れがあります。**よく眠り、バランスよく食べて、体調を管理しておきましょう!**

▶ 咳等の症状がある場合は、他の人に感染(飛沫感染)を広げないように、**咳エチケット***を守りましょう!

厚生労働省
【新型コロナウイルスに関するQ&A】



横浜市保健所
【新型コロナウイルス感染症対策】

